

令和4年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「家庭基礎」― 明日の生活を築く ― (開隆堂)						
副教材等	最新生活ハンドブック (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。

- ・衣・食・住生活および人の一生と家族・家庭、福祉、消費生活などに関する事項を生活科学として理解を深め、知識を身に付けましょう。
- ・多様な考え方を学び、自分自身の生活課題として捉え、科学的・批判的思考をもって判断できるようになる。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けよう。
- ・主体的に生活にかかわり、地域や社会を創っていく担い手になることを目指しましょう。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関して、生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況の観察 授業プリントの記述、レポート・ワークシートへの取り組み 実習計画、実習記録、自己評価、 等	学習状況の観察 授業プリント・ワークシートの記述、 実習計画、実習記録、レポートの考察内容 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 授業プリント・ワークシートの記述 製作品、レポート 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 授業プリント・ワークシートの記述、 実習計画、実習記録、レポートの考察内容 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	青年期の自立	○家庭基礎の学習について ○青年期の自立 ・ライフステージと発達課題 ・青年期とは・自立とは ・出会った問題を考え解決するには	○	○	○	○	a: 青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 青年期にある自分を見つめ、課題を見だし、その解決をめざして考え、表現している。 c: 青年期の生き方について検討する技術を身につけている。 d: 青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている	授業観察 授業プリント ワークシート 定期考査
4月・5月	着る	○被服の機能と着装 ・なぜ衣服を着るのか ・被服の機能と素材の関係 ○被服の管理と計画 ・衣服の表示 ・被服の管理・洗剤の働き ・資源としての被服・被服計画 ○エプロン製作 ・ミシン縫いの基礎とボタン付け	○	○	○	○	a: 着衣理由を考え、また身のまわりの衣服の素材などに関心を持ち、衣生活に関して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 被服管理について、また保健衛生上の機能と被服の素材・デザイン・着装などについて課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断している c: 生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な基礎縫い、被服計画や、洗濯・保管などの管理ができる d: 被服の機能と着装、被服材料、被服の構成、被服管理などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 実習レポート 実習記録 製作物 自己評価 定期考査
6月・7月	消費者市民として生きる	○経済計画とリスク管理 ・家計と国民経済の関わり ・家計のマネジメント ・お金を借りること(奨学金) ○消費行動と意思決定 ・契約 ・販売方法と支払方法の多様化(キャッシュレス社会) ・情報社会と消費者問題	○	○	○	○	a: 生涯を見通した経済計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として考えようとしている。 c: 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計を、立案するための技術を身に付けている。 d: 消費者信用について理解し、消費者問題の種類や特徴、対処法など現在および将来の消費生活のために必要な基礎的知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート レポート 自己評価 定期考査

※令和3年度以前入学生用

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
7月・8月・9月	住まう	○さまざまな住まいと暮らし方 ・地域による住まいの違いと役割 ・住宅広告を読む ・ライフステージに合った間取り設計 ○安全で快適な住まい ・どんな住まいが安全か ・快適に住まうために	○	○	○	○	a: 自然環境や社会環境と調和した住まい方に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 安全で快適、健康的な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を整理する技術を身に付けている。 d: 気候や風土に応じた住居とその機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で健康的な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 製作物 定期考査
10月 11月	食べる	○食生活の課題 ・食生活の実態 ・食生活の役割・変化 ○食品と栄養 ○食品の選択と保存 ・食品の衛生と安全 ○食事を整える ・調理実習	○	○		○	a: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を活用し、各自の食生活の実態について課題を見だし、その解決をめざして考え、適切に判断している。 c: 調理の基本技術を身に付け、安全と衛生に配慮した調理操作ができる。また食品の栄養的特質、調理上の性質について理解しつつ調理操作ができる d: 食品の栄養的特質、栄養素の働き、調理、食品衛生などについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むための基礎知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 実習観察 定期考査
12月	高齢期の生活	○高齢者の生活と課題 ・高齢者疑似体験 ○高齢社会を生きる ・高齢者の尊厳と少子高齢化の課題 ○共生社会における地域や家族 ・社会的支援	○	○	○	○	a: 高齢者の生活について関心を持ち、体験を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 高齢者の現状とそれを取り巻く社会の課題について、個人・家族・社会の視点から見つめ、それぞれがどのように機能すればよいか考えまとめている。また、相手の立場や気持ちを思いやって解決策を考えようとしている c: 日常生活に必要な基礎的の介助ができる（車いす、日常生活動作）。 d: 高齢者福祉の基本的な理念や家族の役割、高齢者福祉サービス、高齢者福祉施設などについて理解し、基本的な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 体験レポート ワークシート 班内発表 定期考査

※令和3年度以前入学生用

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1月・2月	子どもの発達と保育	○子どもの発達と生活 ・子どもの育つ力 ・乳幼児期の発達と保育の重要性 ・健康と安全を守る ○子どもの育つ環境 ・親の役割 ・子供が健やかに育つ環境と社会的支援	○ ○	○ ○		○ ○	a:子どもの発達と保育について視聴覚教材などを通して関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家族・家庭・社会など子どもを取り巻く環境と保育との関わりについて課題を見だし、その解決を目指して考えをまとめ表現している。 c: d:保育の第一義的な責任や、それを支える社会的な支援が必要なことを理解している。子どもの発達と保育について理解している。家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント 視聴覚レポート ワークシート 定期考査
2月・3月	家族・家庭を考える	○家族・家庭を考える ・家族とは、家庭とは ・家族をつくるとは ・家庭の機能の変化 ・家族の法律を知ろう(家族法クイズ) ・ワーク・ライフ・バランス ・これからの家族を考えよう	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家族・家庭と社会との関わりについての課題を見だし、その解決をめざして考えている。 c:世帯の動向にみられる特徴とそれを規定する社会的要因について分析し、検討する技術を身に付けている d:家族の形態と家庭生活のあり方について、その多様性を理解している。家族・家庭の意義。社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分のこととして捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

※令和3年度以前入学生用